NEC

液晶ディスプレイ

LCD52VM/LCD52VM-R
(L154F0)
LCD72VM/LCD72VM-R
(L174F1)
LCD92VM/LCD92VM-R
(L194F2)

取扱説明書

■この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
■取扱説明書は「保証書」と共に大切に保管してください。

もくじ ページ

ご使用の前に

何ができるの？

明るさや色の調節をしたい

■ OSD 機能（On Screen Display）*（→ P15）*

画面の明るさ、表示位置やサイズ、カラー調節などをOSD画面により調節することができます。OSD機能そのものに関する操作（OSD オートオフ、OSD ロックなど）もできます。

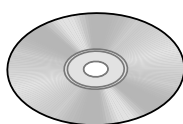
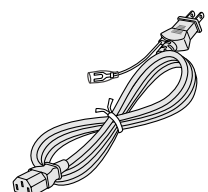
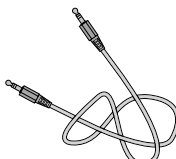
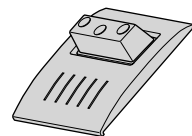
スタンドの角度を調節したい

■ スタンド調節機能 *（→ P12）*

角度を上下方向に調節することができます。

本機は、アナログ信号を受けて画像を表示することができます。接続に際しての詳細は「接続方法について」*（→ P9）*に記載してあります。

接続方法	コンピューターの機種	コンピューターの出力端子	画面の自動調節
アナログ接続	Win DOS/V 対応機※1 Mac Macintosh シリーズ※2	DVI-I 端子※3、ミニ D-SUB15 ピン端子またはD-SUB15ピン端子	要 *（→ P14）*

※ 1　Windows®をご使用の方は、セットアップ情報をインストールすることをお奨めいたします。詳しくは「Windows®セットアップ」をご覧ください。*（→ P13）*

※ 2　Apple Macintosh シリーズコンピューターは、モデルにより出力端子が異なります。変換アダプター（市販）が必要となる場合があります。詳しくは「接続方法について」*（→ P9）*をご覧ください。

※ 3　DVI-I 端子によるアナログ接続には、変換アダプター（市販）等が必要となります。詳しくは「接続方法について」（→ P9）をご覧ください。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

ユーティリティーディスク（テストパターンおよびセットアップ用 *（→ P13）* Windows®95/98/Me/2000/XP&Macintosh 対応）	電源コード	信号ケーブル ミニ D-SUB15 ピン ーミニ D-SUB15 ピン（アナログ接続用）	ケーブルフォルダー
		オーディオケーブル	ベーススタンド
	取扱説明書（本書）		
	セットアップシート (本体に貼り付けてあります。)		保証書 (梱包箱に貼り付けてあります。)

本書の見かた

本書の表記のしかた

お願い：取扱い上、特に守っていただきたい内容

お知らせ：取扱い上、参考にしていただきたい内容

（→ PXX）：参考にしていただきたいページ

Win Mac：Windows®とMacintosh両方に関わる内容

Win：Windows® のみに関わる内容

Mac：Macintosh のみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」*（→ P2）*
説明の内容から探す→「本書の構成と分類」*（→ P3）*
言葉と意味で探す→「用語解説」*（→ P26）*
もくじで探す→「もくじ」*（→表紙）*
さくいんで探す→「さくいん」*（→裏表紙）*

本書の構成と分類

本書では、本機を安全かつ快適にお使いいただくために、以下のように説明を分類しています。

ご使用の前に *（→ P2）*
ご使用のコンピューターと本機の接続方法によって、お客様が必要となる説明がどこに記載されているのかを把握していただくための説明です。

安全のために必ず守ること *（→ P4）*
万が一の事故を回避するための使用方法に関する注意事項です。

各部の名称 *（→ P7）*
後に続く「接続」や「画面設定」などの説明に際して、本機の各部の名称とその位置を把握いただくための説明です。

接続 *（→ P9）*
ご使用のコンピューターと本機を接続して使用するまでに必要な手順を説明しています。

画面調節（OSD 機能） *（→ P14）*
画面の調節やOSD機能の設定をする際の手順や各機能について説明しています。

その他の機能 *（→ P19）*
本機に装備された機能で、OSD 機能以外の機能についての説明をしています。

困ったとき *（→ P20）*
故障の疑いがあるなど、困ったときの対処方法などを説明しています。

付録 *（→ P24）*
用語の解説、さくいんなどを掲載しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態で VCCI 基準に適合しています。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

本製品はスウェーデンの労働団体 TCO により定められた、低周波電磁界、エルゴノミクス、省エネルギー、環境保護に対する規格である TCO'99 に適合しています。

本製品は JEITA「PC グリーンラベル制度」の審査基準（2005 年度版）を満たしています。
詳細は、Web サイト http://www.jeita.or.jp をご覧下さい。

安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	**注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		**必ず指示に従いおこなってください。**
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		**必ずアースリード線を接地（アース）してください。**
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		**高圧注意（本体後面に表示）**

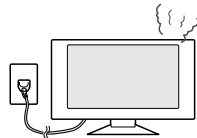
●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

⚠ 警告

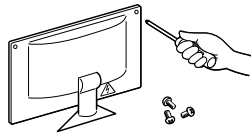
万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない

使用禁止

火災・感電の原因になります。

裏ぶたをはずさない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

傾斜面や不安定な場所に置かない

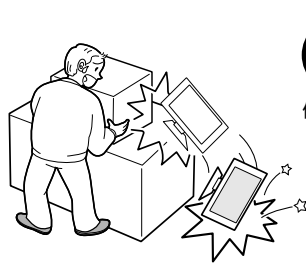
禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

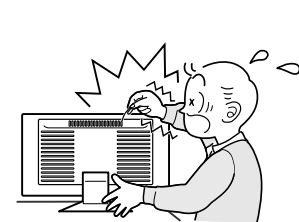
電源コードを傷つけない

傷つけ禁止

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。

キャビネットを破損したときは使わない

使用禁止

火災・感電の原因になります。

異物をいれない
特にお子さまにご注意

禁止

火災・感電の原因になります。

アース線を接続する

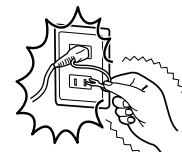
接地

アース線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。
アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

風呂場や水のかかるところに置かない

水ぬれ禁止

水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。

アースリード線を挿入・接触しない

禁止

電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。

⚠ 警告

正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。
一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
本機に添付している電源コードは本機専用です。
安全のため他の機器には使用できません。

修理・改造をしない

修理・改造禁止

けが・火災・感電の原因になります。

ポリ袋で遊ばない

禁止

特にお子さまにご注意

本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

接触禁止

感電の原因になります。

液晶を口にしない

警告

液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。
万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。

⚠ 注意

設置のときは次のことをお守りください。
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

狭い所に置かない

設置禁止

あお向けや横倒し、さかさまにしない

禁止

直射日光や熱器具のそばに置かない

設置禁止

布などで通風孔をふさがない

禁止

車載用禁止

車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。

禁止

屋外での使用禁止

屋外での使用禁止

本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

設置禁止

液晶パネルに衝撃を加えない

破損してけがや故障の原因になります。

禁止

接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認の上、移動してください。

禁止

電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。

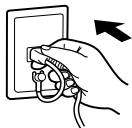
プラグを持つ

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

⚠ 注意

電源プラグを奥までさしこむ
しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く
感電の原因になります。
During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.

スタンドに指をはさまない
角度調節時に指をはさむとけがの原因になります。

液晶ディスプレイを廃棄する場合
液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。*（→ P23：本機を廃棄するには）*

１年に一度は内部掃除を
内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。
内部掃除は販売店にご依頼ください。

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く

電源プラグのほこりなどは定期的にとる
火災の原因になります。
１年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。

液晶ディスプレイの上手な使い方

日本国内専用です
この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

キャビネットを傷めないために
キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。）また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。

キャビネットのお手入れ
お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

上手な見方
画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。
明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

液晶パネルのお手入れ
液晶パネルの表面にほこりや汚れがついているときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。表面が変質する恐れがありますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤や、ガラスクリーナーは使用しないでください。表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、叩いたりしないでください。また、液晶パネルは壊れやすいので強く押したり、強い力を加えたりしないでください。

各部の名称

本体正面

ヘッドホン端子
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

－ボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
ブライトネス調節画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
「SELECT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

AUTO/RESETボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
自動調節を実行します。
OSD画面が表示されているとき
現在表示中のメニュー内の項目のリセット画面を表示します。*（→ P16）*

SELECTボタン
OSD画面が表示されていないとき
OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
選んだ調節項目を決定します。

＋ボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
音量調節画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
「SELECT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

電源スイッチ
電源をオン／オフするときに押します。

お願い
電源を短時間のうちにひんぱんにオン／オフしないでください。故障の原因となることがあります。

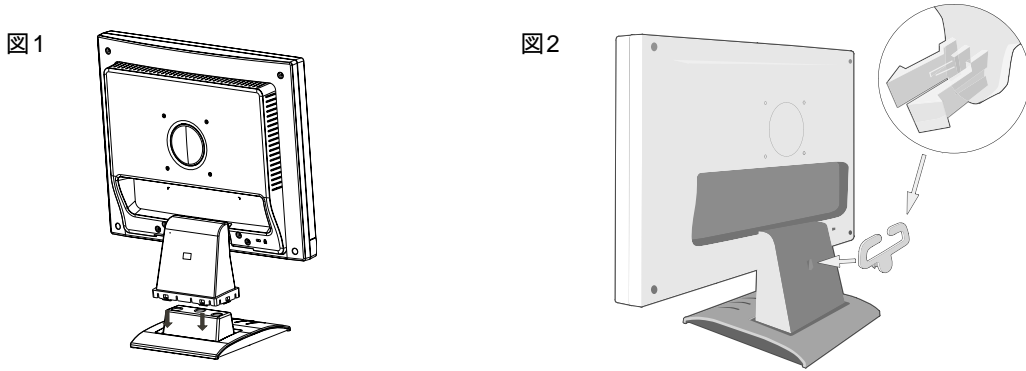
お知らせ
- 各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」*（→ P15）*をご覧ください。

本体背面

ケーブルフォルダー
接続後のケーブルをすっきりまとめます。
盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー（Kensington 社製）を取りつけられます。
電源入力コネクター
電源コードを接続します。
オーディオ入力端子
信号入力コネクター
ミニ D-SUB15 ピンケーブルを接続します。

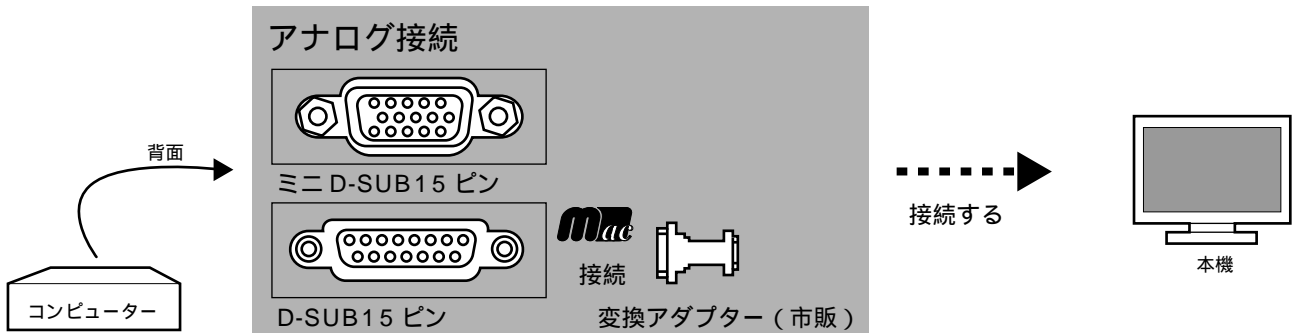
接続

ベーススタンドを取り付ける

図1のように水平な机の上にベーススタンドを置いてください。ベーススタンドのくぼみに本体スタンド部をあわせ、奥までしっかりさし込んでください。
図2のようにスタンド背面のくぼみにケーブルフォルダーをあわせ、奥までしっかりさし込んでください。

⚠ 注 意

ベーススタンドと本体スタンド部が確実に取り付けられていないと本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。
取り付けた際にベーススタンドと本体スタンドの四隅に段差がなく均一な面になっていることを確認してください。
ベーススタンドに本体を取り付ける際に指をはさまないように注意してください。

接続方法について

本機の信号入力コネクターは、アナログ信号(ミニD-SUB15ピン)に対応しています。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクターに接続してください。
それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。

接続コネクターと信号ケーブル対応表

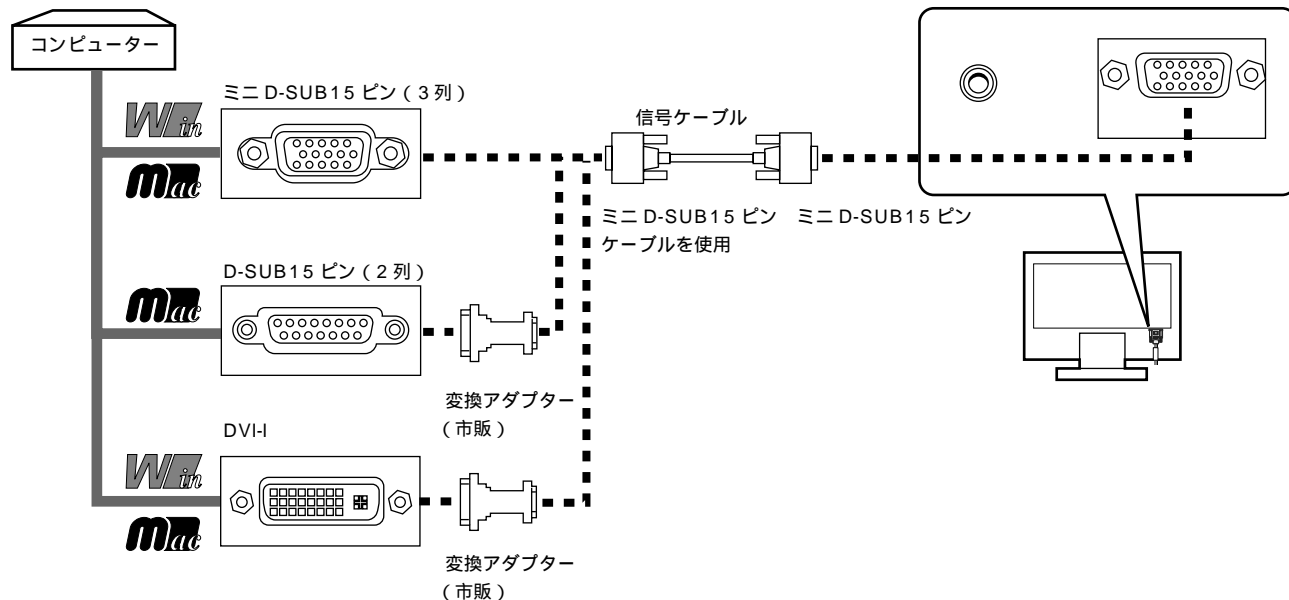
ディスプレイ側 コンピューター側	ミニ D-SUB15 ピン
DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	ミニ D-SUB15 ピン―ミニ DSUB15 ピンケーブルで接続 （市販の変換アダプターが必要）
DVI-D（デジタル接続）	接続できません
ミニ D-SUB15 ピン（アナログ接続）	ミニ D-SUB15 ピン―ミニ DSUB15 ピンケーブルで接続
D-SUB15 ピン（アナログ接続）	ミニ D-SUB15 ピン―ミニ DSUB15 ピンケーブルで接続 （市販の変換アダプターが必要）

接続する

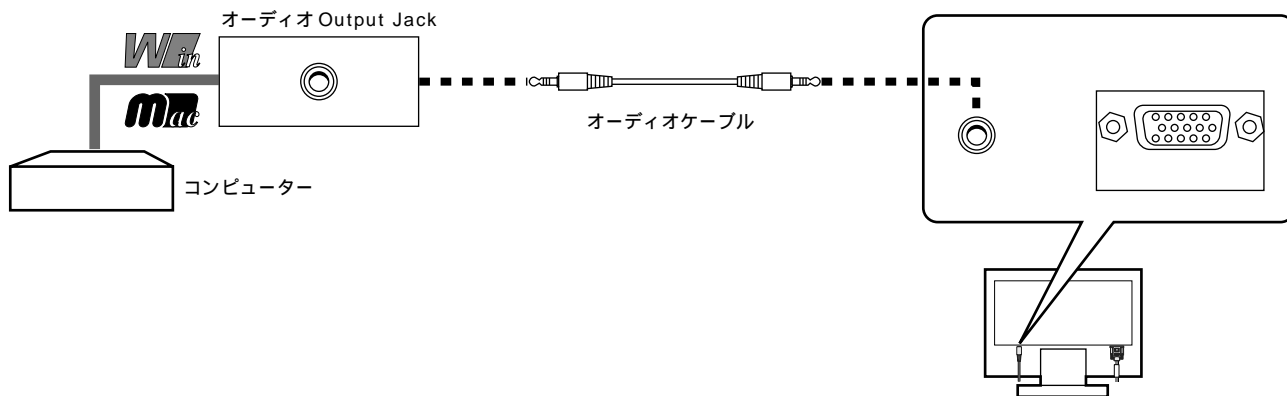
お願い

● 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

1 信号ケーブルを接続する

信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

※ Apple Macintosh シリーズコンピューターは、モデルによりアナログ RGB 出力コネクターが異なります。

2 オーディオケーブルを接続する

設接
定続

3 電源を接続する

お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A 以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む

お願い

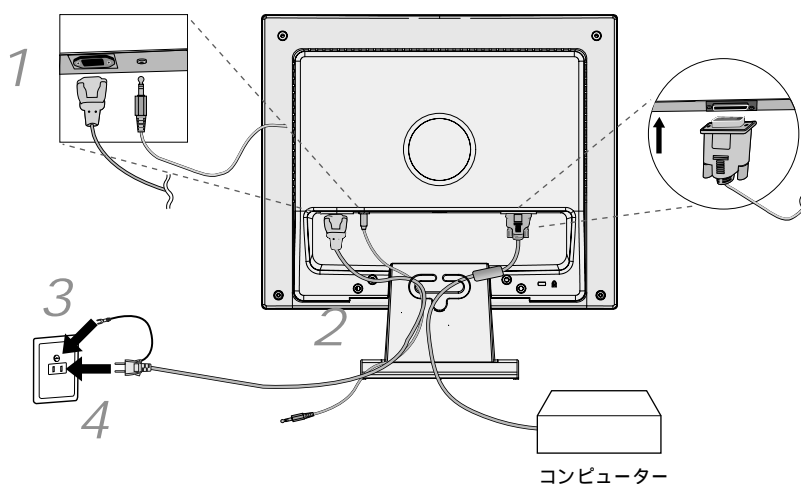
- 奥までしっかりと差し込んでください。
- 本機の角度を変えても、ケーブルが外れないことを確認してください。

2 電源コードと信号ケーブルとオーディオケーブルをケーブルフォルダーにかける

お願い

- 画面を前後に動かし *(→ P12)*、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。

3 アースリード線を接地（アース接続）する

4 電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続する

⚠ 警告

- **表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。**
- **本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。**
- **電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。**
- **本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。**

お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
  This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

5 本機およびコンピューターの電源を入れる

接続
設定

4 調節をおこなう

1 画面の調節をおこなう

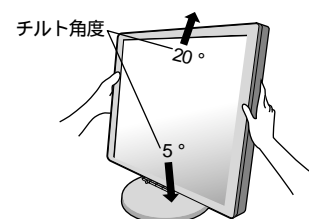
まずは「自動調節をする」**(→ P14)** の手順にしたがって自動調節をしてください。自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「OSD 機能について」**(→ P16)** をご覧ください。

お知らせ

● 最適な解像度以外の信号を入力している場合、RESOLUTION NOTIFIER の案内画面が表示されます。解像度を変えずにこのままご使用になる場合、この案内画面を表示させなくすることができます。方法については「ツール」の「■ RESOLUTION NOTIFIER」**(→ P17)** をご覧ください。

RESOLUTION NOTIFIER の案内画面

2 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。
右図のように見やすい角度に調節します。

液晶画面を押さないようにしてください。

⚠注意

角度調節時に、指をはさまないように気を付けてください。けがの原因となることがあります。

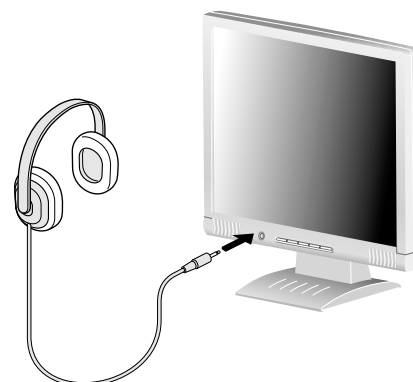
ヘッドホンの接続

液晶ディスプレイ前面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

⚠注意

ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因となります。

お知らせ

● 液晶ディスプレイに接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、オーディオショップなどで「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
● ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。

付属のユーティリティーディスクについて

同梱のユーティリティーディスクは、以下のような場合にご使用ください。

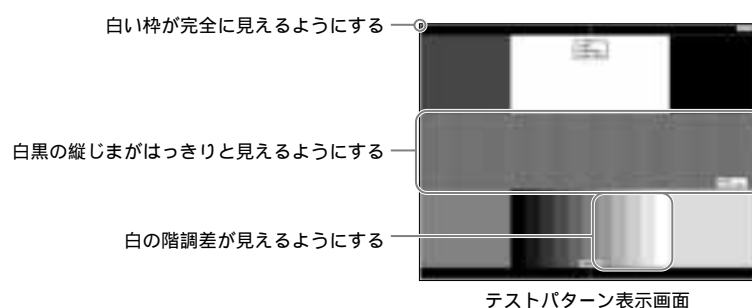
※ 内容の詳細やインストール方法などについては、ユーティリティディスクの README.TXT をご覧ください。

Windows® セットアップ

付属のユーティリティーディスクには、ディスプレイのWindows®用セットアップ情報が入っています。このセットアップ情報をご使用のコンピューターにインストールすることで、最大解像度や垂直周波数等がディスプレイの能力に合わせて設定できるようになります。
本機をはじめてコンピューターに接続したときには、付属のユーティリティディスクからセットアップ情報をコンピューターへインストールしてください。
インストール手順はユーティリティディスクの README.TXT をご覧ください。

テストパターン

付属のユーティリティーディスクには、テストパターンが入っています。このテストパターンはアナログ接続をした場合の画面調節の際に使用します。
ご使用方法については、ユーティリティーディスクの README.TXT をご覧ください。

テストパターン表示画面

自動調節をする

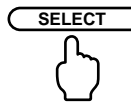
本機をコンピューターと接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。*（→ P16）*
自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の 2 つに分かれています。2 つともおこなってください。

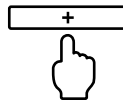
お知らせ

- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD 画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD 画面の基本操作」*（→ P15）*をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面全体に付属のユーティリティーディスクのテストパターン（→ *P13*）またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

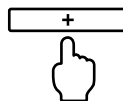
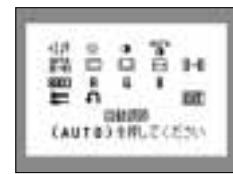
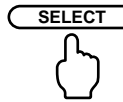
3 液晶ディスプレイ前面の「SELECT」ボタンを押し、OSD メニューを表示します。

4 コントラストの自動調節をおこなう

①「＋」ボタンを押し、オートコントラストにカーソルを移動し、「SELECT」ボタンを押します。

②「AUTO/RESET」ボタンを押します。
コントラストの自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

自動調節画面

「実行中」の文字が消えたら調節完了です。手順５に進みます。

5 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう

① コントラストの自動調節が終わったら、「SELECT」「＋」ボタンの順に押し、「自動調節」にカーソルを移動し「SELECT」ボタンを押します。

②「SELECT」ボタンを押します。左の表示位置、上下の表示位置、水平サイズ、位相の自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

自動調節画面

「実行中…」の表示が消え、元の画面が表示されたら、調節完了です。
これですべての自動調節が完了しました。

6 以下の手順で OSD メニューを消してください。

①「SELECT」ボタンを押します。
②「＋」ボタンを押して「EXIT」のアイコンにカーソルを移動します。
③「SELECT」ボタンを押し、OSD メニューを消します。

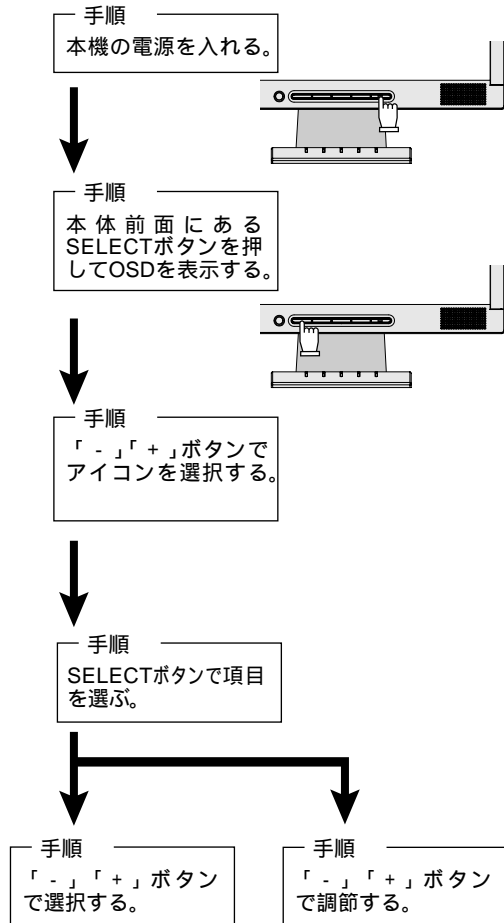
お 願 い

- DOS プロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく 機能しない場合があります。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、マニュアル調節でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。

画面調節（OSD 機能）

OSD 画面の基本操作

本機には OSD（On Screen Display）機能がついています。OSD 画面を操作することにより、画面の調節ができます。

OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。

その他、OSD で操作方法を表示している場合はそれに従ってください。

お知らせ
上記のボタンのいずれも押さず OSD オートオフで設定された時間が経過すると OSD 画面は自動的に消えます。
（工場設定は 45 秒です。）

OSD 機能について

<table>
<tr><th>アイコン</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>MUTE(消音)時
サウンド</td><td>スピーカーの音量を調節します。
「ＡＵＴＯ／ＲＥＳＥＴ」ボタンを押すと、ＭＵＴＥ（消音）状態になります。
もう一度「ＡＵＴＯ／ＲＥＳＥＴ」ボタンを押すと、ＭＵＴＥ（消音）状態はＯＦＦになります。</td></tr>
<tr><td>ブライトネス</td><td>画面の明るさを調節します。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>コントラストを調節します。</td></tr>
<tr><td>AUTO
コントラスト（AUTO）</td><td>コントラストを自動調節します。</td></tr>
<tr><td>AUTO
自動調節</td><td>左右方向、上下方向の表示位置、水平サイズ、位相を自動調節します。</td></tr>
<tr><td>左/右</td><td>左右方向の表示位置を調節します。</td></tr>
<tr><td>下/上</td><td>上下方向の表示位置を調節します。</td></tr>
<tr><td>水平サイズ</td><td>画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。</td></tr>
<tr><td>位相</td><td>画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。
また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときに使用します。</td></tr>
<tr><td>9300
COLOR</td><td>色を調節します。あらかじめ設定されている色の設定値を選択します。
設定されている色（9300　7500　6500　USER）がアイコンで表示されます。</td></tr>
<tr><td>R
RED</td><td>赤色を調節します。</td></tr>
<tr><td>G
GREEN</td><td>緑色を調節します。</td></tr>
<tr><td>B
BLUE</td><td>青色を調節します。</td></tr>
<tr><td>TOOL</td><td>ＴＯＯＬアイコンを選択すると下記の言語切替、ＯＳＤオートオフ、ＯＳＤロック、RESOLUTION NOTIFIER、MONITOR INFO.のアイコンに切り替わります。
<table>
<tr><th>ＴＯＯＬアイコン</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>言語切替</td><td>ＯＳＤ画面の表示言語を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>ＯＳＤオートオフ</td><td>ＯＳＤ画面が自動的に消えるまでの時間を設定します。</td></tr>
<tr><td>ＯＳＤロック</td><td>誤って調節してしまうことを防ぐためのＯＳＤメニュー操作禁止を設定、解除できます。ＯＳＤロック状態でも、音量、コントラストとブライトネスは調節可能です。</td></tr>
<tr><td>xy
RESOLUTION　NOTIFIER</td><td>最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン／オフします。</td></tr>
<tr><td>MONITOR INFO.</td><td>MODEL（形名）とSERIAL NUMBER（製造番号）を表示します。</td></tr>
<tr><td>EXIT
ＥＸＩＴ</td><td>OSDメニューのＴＯＯＬアイコンに戻ります。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>オールリセット</td><td>音量、ブライトネス、コントラスト、左／右、下／上、水平サイズ、色調節、ＯＳＤオートオフを出荷時の状態に戻します。</td></tr>
<tr><td>EXIT
EXIT</td><td>ＯＳＤ画面を消します。</td></tr>
</table>

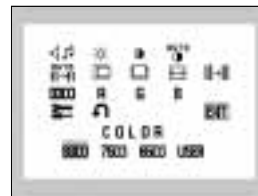
主なOSD機能

カラー調節

お好みに応じて画面の色合いを調節することができます。

● **9300、7500、6500**
色温度調節
あらかじめ設定されている9300,7500,6500の色温度を選択することができます。

● **USER**
色調節
次のそれぞれの色についての調節ができます。
R：赤色、G：緑色、B：青色
9300、7500、6500を選択していても、R,G,Bどれかを調節するとその時点で選択がUSERに切り替わります。

● **リセット**
「AUTO/RESET」ボタンを押すと調節した値が工場設定に戻ります。

ツール

■ **OSDロック**
OSDロック画面を表示している状態で、操作をおこないます。

● **OSDメニューの操作をロックする**
「AUTO/RESET」ボタンを押しながら「＋」ボタンを押すと、OSDがロックされOSDオートオフで設定された時間後にOSDメニューは消えます。

● **ロックを解除する**
OSDが表示されている状態で、「AUTO/RESET」ボタンを押しながら「＋」ボタンを押すとロックが解除されます。

OSDロック設定中のOSD画面

■ **RESOLUTION NOTIFIER**
最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン / オフします。
右のような画面が表示される場合、これを表示しないようにするためには、オフを選択してください。
操作の手順については、「OSD画面の基本操作」***（→ P15）***を参考にしてください。

RESOLUTION NOTIFIER
の案内画面

HOT KEY

■ **HOT KEY**
OSD画面が表示されていないとき各ボタンを押すことで直接調節できます。
「－」ボタンを押すとブライトネス調節画面を表示します。
「＋」ボタンを押すと音量調節画面を表示します。
「AUTO/RESET」ボタンを押すと自動調節を実行します。

OSD 機能による画面の調節が必要となる場合

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合は画面調節 **（→ P16）**をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

＜工場プリセットタイミング＞

LCD52VM/LCD52VM-R

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
720 × 350	31.5kHz	70Hz	
720 × 400	31.5kHz	70Hz	
640 × 480	31.5kHz	60Hz	
640 × 480	35.0kHz	67Hz	Macintosh
640 × 480	37.5kHz	75Hz	
640 × 480	37.9kHz	73Hz	
800 × 600	35.2kHz	56Hz	
800 × 600	37.9kHz	60Hz	
800 × 600	46.9kHz	75Hz	
800 × 600	48.1kHz	72Hz	
832 × 624	49.7kHz	75Hz	Macintosh
1024 × 768	48.4kHz	60Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75Hz	推奨信号タイミング

LCD72VM/LCD72VM-R
LCD92VM/LCD92VM-R

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	31.5kHz	60Hz	
640 × 480	35.0kHz	67Hz	Macintosh
640 × 480	37.9kHz	73Hz	
640 × 480	37.5kHz	75Hz	
720 × 350	31.5kHz	70Hz	
720 × 400	31.5kHz	70Hz	
800 × 600	35.2kHz	56Hz	
800 × 600	37.9kHz	60Hz	
800 × 600	48.1kHz	72Hz	
800 × 600	46.9kHz	75Hz	
832 × 624	49.7kHz	75Hz	Macintosh
1024 × 768	48.4kHz	60Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75Hz	Macintosh
1280 × 960	60.0kHz	60Hz	
1280 × 960	74.8kHz	75Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	推奨信号タイミング
1280 × 1024	80.0kHz	75Hz	

* 推奨信号タイミング（アナログ入力時）

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- LCD52VM シリーズは 16 種類、LCD72VM シリーズ /LCD92VM シリーズは 21 種類のタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。記憶させたい信号を入力し、OSD 機能でお好みの画面に調節 **（→ P16）**するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数はLCD52VM シリーズが水平周波数：31.5 ～ 61kHz垂直周波数：56 ～ 76Hz、LCD72VM シリーズ /LCD92VM シリーズが水平周波数：31.5 ～ 81.1kHz 垂直周波数 56 ～ 76Hz 対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
  この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- インターレース信号には対応していません。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。

お知らせ

- LCD52VM シリーズは解像度 1024 × 768 以外、LCD72VM シリーズ /LCD92VM シリーズは解像度 1280 × 1024 以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

機能

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

LCD52VMシリーズ：1024ドット×768ライン、LCD72VMシリーズ/LCD92VMシリーズ：1280ドット×1024ラインより低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。
OSD画面の注意画面を表示するとともに「簡易表示機能」により画面を縮小表示しますので、他の高解像度ディスプレイを接続することなく、本機が対応する解像度にコンピューターの設定を変更することができます。

OSD画面の注意画面

お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。
- 75Hzより高い垂直同期信号では動作しません。

Plug&Play機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA: No Touch Auto Adjust）（800×600以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

- この機能はVESA DPMS対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力			電源ランプ
	LCD52VMシリーズ	LCD72VMシリーズ	LCD92VMシリーズ	
通常動作時	23W	34W	40W	緑色点灯
パワーセーブモード時	2W以下			橙色点灯

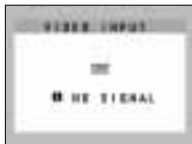
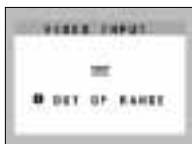
水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
  画面が復帰しない場合またはパワーマネージメント機能のないコンピューターと接続して使用の場合、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P23
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P7
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P11
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	電源ランプが緑色に点灯している場合	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P15
		●OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P23
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「ブライトネス・コントラスト」の「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P16
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P11, 18
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P19
		信号ケーブルが本機またはコンピュータのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P10
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P10
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合※	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P23

※ 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。

表示がおかしいときは…

症　状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	LCD52VMシリーズは1024×768、LCD72VMシリーズ/LCD92VMシリーズは1280×1024以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P18
表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P26
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P27, P28～30
画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は1日程度で消えます。	P26
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P15
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P23
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「カラー調節」を選択しお好みで色の割合を調節していただくか、またはRESETボタンで工場設定に戻してください。	P17
	● OSD画面が正常に表示され、「カラー調節」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P10, 18
画面がちらつく(分配器を使用している場合)	分配器を中継させず、コンピューターと直に接続してください。	P10
画面がちらつく(上記以外の場合)	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P15
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P23
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P17
	● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P10, 18

案内画面／注意画面が表示されたら…

症　状	原　因	対　処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！ ※1	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P10
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	電源ランプが橙色に点灯している場合は、コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P19
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！ ※2	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P18
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P18
画面に「RESOLUTION NOTIFIER」が表示された！	ご使用のコンピューターから出力されている解像度の信号が推奨サイズ以外に設定されています。	コンピューター本体の解像度をLCD52VMシリーズは1024×768、LCD72VMシリーズ/LCD92VMシリーズは1280×1024にしてください。そのままの解像度をお使いでこれを表示させたくない場合は、RESOLUTION NOTIFIERをオフ（非表示）に設定してください。	P17

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症　状	原　因	対　処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	Windows® をご使用の場合は、Windows® セットアップのインストールが必要な可能性があります。	付属のユーティリティーディスクのWindows®セットアップをコンピューターにインストールしてください。***(→P13)***
	Windows® セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows® 以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターのマニュアルをご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。

症　状	原　因	対　処
スピーカーから音が出ない！	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	オーディオケーブルを本機およびコンピュータのコネクターに正しく接続してください。
	ヘッドホンがつながっている場合、スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。
	音量が最小になっている。または、MUTE(消音)機能が働いている可能性があります。	OSD メニューの「🔈♬」で音量を調節、または「AUTO/RESET」ボタンを押して MUTE を OFF にしてください。 **(→ P16)**

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい商品の開発と常に最新の ISO や TCO の標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

http://www.nec-display.com

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	**事業系（法人ユーザー様）の窓口**
TEL **03-3455-6107** URL **http://www.pc-eco.jp**	TEL **03-3455-6106** URL **http://www.diarcs.com**
受付時間　土・日・祝日を除く　午前 9:00 ～午後 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“ PC リサイクル ”が 2003 年 10 月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003 年 10 月 1 日より受付しております。2003 年 10 月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“ PC リサイクル ”が表示されている商品※は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

※“ PC リサイクル ”の表示のない商品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きますので、あらかじめご了承ください。

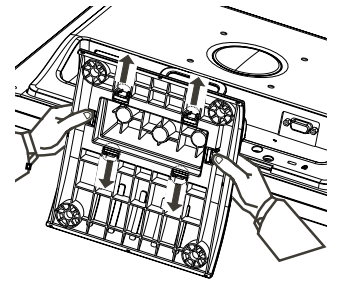
保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
  保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「121 コンタクトセンター」にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か、「121 コンタクトセンター（フリーダイヤル：0120-977-121)」へご相談ください。

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：液晶ディスプレイ**
- **形名：LCD52VM/LCD52VM-R**
  LCD72VM/LCD72VM-R
  LCD92VM/LCD92VM-R
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **購入年月日または使用年数**

再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でベーススタンドを取り外してください。
水平な机の上に本体表示部を下になるように置いてください。右図の矢印方向に、左右 2 ケ所ずつ指でつめを押して外してください。つめを 4 カ所外しベーススタンドを手前にゆっくりと引くと取り外すことが出来ます。

⚠注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無い事を確認し表示部を傷つけないように注意してください。
つめを外す際に指をはさまないように注意してください。

市販のアームを取りつけるとき

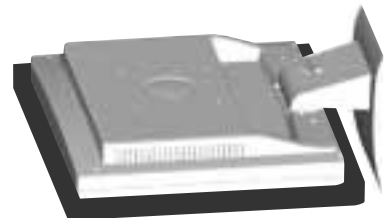
本機にはVESA 規格に準拠した（LCD52VM シリーズ 75mm ピッチ、LCD72VM シリーズ /LCD92VM シリーズ 100 mmピッチ）市販のアームを取りつけることができます。

お 願 い

● アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量はＬＣＤ５２ＶＭ シリーズ 約２.９kg、LCD72VM シリーズ 約 4.3kg、LCD92VM シリーズ 約 5.5kg です。）

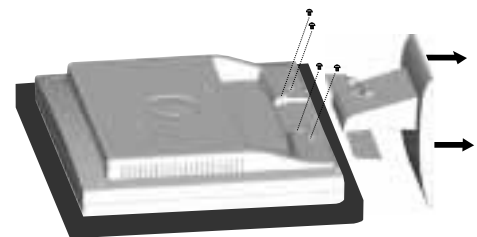
アームを取りつける際は、下記要領で取りつけてください。

スタンドの取り外し方

1 **本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外す**
スタンドと床が平行になるように、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置きます。

2 **スタンドを取りつけている 4 本のネジを取り外し、スタンドを引き抜く**

お 願 い

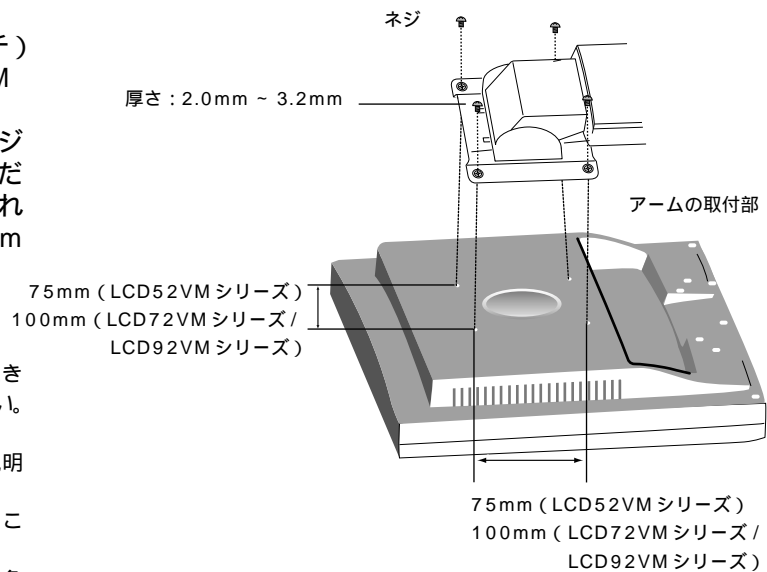
● スタンドを取りつける場合は、逆の手順でおこないます。その際は必ずスタンド取りつけに使用していたネジを使ってください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因になる恐れがあります。
● ネジを締めつける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。なお、スタンドの取りつけはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。

アームの取りつけ方

1 スタンドの取りつけに使用していたネジを使って、下記仕様のアームを取りつける

取付可能アーム：
　取付部厚み 2.0mm ～ 3.2mm
　VESA 規格準拠
　（LCD52VM シリーズ 75mm ピッチ）
　（LCD72VM シリーズ / LCD92VM シリーズ 100 mmピッチ）
ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。（ただし、締めつけすぎるとネジがこわれることがあります。98～137N･cm が適切な締付トルクです。）

※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

お 願 い

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取りつけ作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- 取りつけ作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
- アームの取りつけはお客様の責任においておこなってください。
万一事故が発生した場合でも、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。
- アームを取りつける際は、必ずスタンドの取りつけに使用していたネジを使ってください。
それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因になる恐れがあります。

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

DDC 2B規格（Display DATA Channel）　P19

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI規格（Display Data Channel Command Interface）

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。この規格に準拠した制御用ソフト「Visual Controller」*（→P26）*を使えば、ディスプレイの前面ボタンだけではなく、色や画質の調節などがコンピューターの側から操作できます。

DPMS（Display Power Management Signalling）　P19

VESAが提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPMSでは、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

Plug&Play　P19

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

RESOLUTION NOTIFIER　P17

最適な解像度以外の信号をコンピューターで設定している場合に、推奨信号の案内を画面に表示する機能です。

VESA規格（Video Electronics Standards Association）　P19, 24

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

Visual Controller

当社オリジナルの、DDC/CI*（→P26）*国際規格に準拠した制御用ソフトです。当社ホームページより無料ダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。

位相（Phase）　P16

アナログ信号をきれいに表示する為の調節機能の１つです。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

エネルギースタープログラム（Energy Star Program）　P3

デスクトップコンピュータの消費電力を節減するために、米国の環境保護局（EPA：Environmental Protection Agency）が推し進めているプログラムのことです。

応答速度（Response Time）　P28～30

表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。

輝度（Luminance Brightness）　P28～30

単位面積あたりを表示する明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比（Contrast Ratio）　P28～30

白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像（Afterimage）　P21

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角（Angle of View） P21, 28～30

斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

水平周波数／垂直周波数（Hrizontal Frequency/Virtical Frequency）P18, 19, 28～30

水平周波数：1 秒間に表示される水平線の数のことで、水平周波数 31.5kHz の場合、1 秒間に水平線を 31,500 回表示するということです。

垂直周波数：1 秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が 60Hz の場合、1 秒間に画面を 60 回書き換えているということです。

チルト角度（Tilt Angle） P12, 28～30

チルト角度：ディスプレイ画面を前後に動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／NTAA（No Touch Auto Adjust）P19

コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を最適な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能（Power Management） P19

コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下さます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度（Resolution） P19, 28～30

一般的には「解像度」と呼ばれています。1 画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

付録

仕様

項目			仕様
形名			LCD52VM／LCD52VM-R
サイズ（表示サイズ）			15 型（38.1cm）
有効表示領域			304 × 228mm
表示画素数			1024 × 768
画素ピッチ			0.297mm
表示色			約 1620 万色
視野角（標準値）			左右 140 °、上下 110 °
輝度（標準値）			250cd/m^2
コントラスト比			400：1
応答速度			25ms
PC 入力	水平周波数		31.5 ～ 61kHz
	垂直周波数		56 ～ 76Hz
	ビデオ信号		アナログ RGB
	同期信号		セパレート同期信号（TTL）
	信号入力コネクター		ミニ D-SUB15 ピン
音声入出力	入力コネクター		3.5 Φステレオミニジャック
	スピーカー		1W+1W（ステレオ）
	ヘッドフォン		3.5 Φステレオミニジャック
適合規格等	パワーセーブ		国際エネルギースタープログラム
	安全		UL60950-1、c-UL
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン
	プラグ＆プレイ		VESA DDC2B
	その他		PC グリーンラベル、TCO '99、グリーン購入法、DDC/CI
使用環境条件	温度		5 ～ 35℃
	湿度		30 ～ 80%（結露のないこと）
保管環境条件	温度		－ 10 ～ 60℃
	湿度		10 ～ 85%（結露のないこと）
電源	電源入力		AC100-240V　50/60Hz
	消費電力	標準	23W
		パワーセーブ時	2W 以下
	電源入力コネクター		3P IEC タイプ
質量			約 3.3kg（スタンドなし約 2.9kg）
梱包状態（質量 / 寸法）			4.6kg／405（W）× 424（H）× 132（D）mm
チルト角度 / スイーベル角度			上 20 °、下 5 °
外形寸法			344.6 / 306.1 / 230.1 / 285 / 352.7 / 153 / 47.2 / 57.5 / 37.5 / 165

【ミニ解説】視野角：白と黒のコントラスト比が5以上に表示できる角度を示します。

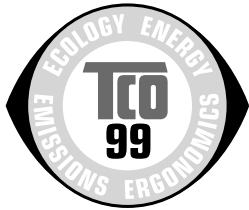
仕様

形名			LCD72VM／LCD72VM-R
サイズ（表示サイズ）			17型（43cm）
有効表示領域			338×270mm
表示画素数			1280×1024
画素ピッチ			0.264mm
表示色			約1620万色
視野角（標準値）			左右160°、上75°、下70°
輝度（標準値）			250cd/m^2
コントラスト比			450：1
応答速度			16ms
PC入力	水平周波数		31.5～81.1kHz
	垂直周波数		56～76Hz
	ビデオ信号		アナログRGB
	同期信号		セパレート同期信号（TTL）
	信号入力コネクター		ミニD-SUB15ピン
音声入出力	入力コネクター		3.5 Φステレオミニジャック
	スピーカー		1W+1W（ステレオ）
	ヘッドフォン		3.5 Φステレオミニジャック
適合規格等	パワーセーブ		国際エネルギースタープログラム
	安全		UL60950-1、c-UL
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン
	プラグ＆プレイ		VESA DDC2B
	その他		PCグリーンラベル、TCO '99、グリーン購入法、DDC/CI
使用環境条件	温度		5～35℃
	湿度		30～80%（結露のないこと）
保管環境条件	温度		－10～60℃
	湿度		10～85%（結露のないこと）
電源	電源入力		AC100-240V　50/60Hz
	消費電力	標準	34W
		パワーセーブ時	2W以下
	電源入力コネクター		3P IECタイプ
質量			約4.7kg（スタンドなし約4.3kg）
梱包状態（質量/寸法）			6.2kg／445（W）×459（H）×139（D）mm
チルト角度/スイーベル角度			上20°、下5°
外形寸法			375.4 340.1 272.5 326.5 389 160 59.3 61 43 180

【ミニ解説】視野角：白と黒のコントラスト比が5以上に表示できる角度を示します。

仕様

形名			LCD92VM／LCD92VM-R
サイズ（表示サイズ）			19 型（48.3cm）
有効表示領域			376 × 301mm
表示画素数			1280 × 1024
画素ピッチ			0.294mm
表示色			約 1620 万色
視野角（標準値）			左右 160 °、上下 160 °
輝度（標準値）			250cd/m^2
コントラスト比			450：1
応答速度			16ms
PC 入力	水平周波数		31.5 ～ 81.1kHz
	垂直周波数		56 ～ 76Hz
	ビデオ信号		アナログ RGB
	同期信号		セパレート同期信号（TTL）
	信号入力コネクター		ミニ D-SUB15 ピン
音声入出力	入力コネクター		3.5 Φステレオミニジャック
	スピーカー		1W+1W（ステレオ）
	ヘッドフォン		3.5 Φステレオミニジャック
適合規格等	パワーセーブ		国際エネルギースタープログラム
	安全		UL60950-1、c-UL
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン
	プラグ＆プレイ		VESA DDC2B
	その他		PC グリーンラベル、TCO '99、グリーン購入法、DDC/CI
使用環境条件	温度		5 ～ 35℃
	湿度		30 ～ 80%（結露のないこと）
保管環境条件	温度		－ 10 ～ 60℃
	湿度		10 ～ 85%（結露のないこと）
電源	電源入力		AC100-240V　50/60Hz
	消費電力	標準	40W
		パワーセーブ時	2W 以下
	電源入力コネクター		3P IEC タイプ
質量			約 6.5kg（スタンドなし約 5.5kg）
梱包状態（質量 / 寸法）			8.1kg ／ 488（W）× 504（H）× 156（D）mm
チルト角度 / スイーベル角度			上 20 °、下 5 °
外形寸法			

【ミニ解説】視野角：白と黒のコントラスト比が5以上に表示できる角度を示します。

お買い上げいただいた本商品はスウェーデンの労働団体(TCO)が定めた環境規格TCO '99 ガイドラインに適合しています。
TCO '99 ガイドラインは、画面品質、環境保護、低周波漏洩電磁界、安全性、省電力、リサイクル性等、広い分野にわたって規定しています。 以下の英文は、TCO が適合製品に英文で添付することを定めた環境文書で、TCO '99 ガイドラインの目的および環境要求の概要を記述しています。

Congratulations!
You have just purchased a TCO'99 approved and labelled product!
Your choice has provided you with a product developed for professional use. Your purchase has also contributed to reducing the burden on the environment and also to the further development of environmentally adapted electronics products.

Why do we have environmentally labelled computers?
In many countries, environmental labelling has become an established method for encouraging the adaptation of goods and services to the environment. The main problem, as far as computers and other electronics equipment are concerned, is that environmentally harmful substances are used both in the products and during their manufacture. Since it is not so far possible to satisfactorily recycle the majority of electronics equipment, most of these potentially damaging substances sooner or later enter nature.
There are also other characteristics of a computer, such as energy consumption levels, that are important from the viewpoints of both the work (internal) and natural (external) environments. Since all methods of electricity generation have a negative effect on the environment (e.g. acidic and climate-influencing emissions, radioactive waste), it is vital to save energy. Electronics equipment in offices is often left running continuously and thereby consumes a lot of energy.

What does labelling involve?
This product meets the requirements for the TCO'99 scheme which provides for international and environmental labelling of personal computers. The labelling scheme was developed as a joint effort by the TCO (The Swedish Confederation of Professional Employees), Svenska Naturskyddsforeningen (The Swedish Society for Nature Conservation) and Statens Energimyndighet (The Swedish National Energy Administration).
Approval requirements cover a wide range of issues: environment, ergonomics, usability, emission of electric and magnetic fields, energy consumption and electrical and fire safety.
The environmental demands impose restrictions on the presence and use of heavy metals, brominated and chlorinated flame retardants, CFCs (freons) and chlorinated solvents, among other things. The product must be prepared for recycling and the manufacturer is obliged to have an environmental policy which must be adhered to in each country where the company implements its operational policy.
The energy requirements include a demand that the computer and/or display, after a certain period of inactivity, shall reduce its power consumption to a lower level in one or more stages. The length of time to reactivate the computer shall be reasonable for the user.
Labelled products must meet strict environmental demands, for example, in respect of the reduction of electric and magnetic fields, physical and visual ergonomics and good usability.

Below you will find a brief summary of the environmental requirements met by this product. The complete environmental criteria document may be ordered from:

TCO Development
SE-114 94 Stockholm, Sweden
Fax: +46 8 782 92 07
Email (Internet): development@tco.se
Current information regarding TCO'99 approved and labelled products may also be obtained via the Internet, using the address: http://www.tcodevelopment.com/

Environmental requirements
Flame retardants
Flame retardants are present in printed circuit boards, cables, wires, casings and housings. Their purpose is to prevent, or at least to delay the spread of fire. Up to 30% of the plastic in a computer casing can consist of flame retardant substances.
Most flame retardants contain bromine or chloride, and those flame retardants are chemically related to another group of environmental toxins, PCBs. Both the flame retardants containing bromine or chloride and the PCBs are suspected of giving rise to severe health effects, including reproductive damage in fish-eating birds and mammals, due to the bio-accumulative* processes. Flame retardants have been found in human blood and researchers fear that disturbances in foetus development may occur.
The relevant TCO'99 demand requires that plastic components weighing more than 25 grams must not contain flame retardants with organically bound bromine or chlorine. Flame retardants are allowed in the printed circuit boards since no substitutes are available.

Cadmium **
Cadmium is present in rechargeable batteries and in the colour-generating layers of certain computer displays.
Cadmium damages the nervous system and is toxic in high doses. The relevant TCO'99 requirement states that batteries, the colour-generating layers of display screens and the electrical or electronics components must not contain any cadmium.

Mercury **
Mercury is sometimes found in batteries, relays and switches.
It damages the nervous system and is toxic in high doses. The relevant TCO'99 requirement states that batteries may not contain any mercury. It also demands that mercury is not present in any of the electrical or electronics components associated with the labelled unit.

CFCs (freons)
The relevant TCO'99 requirement states that neither CFCs nor HCFCs may be used during the manufacture and assembly of the product. CFCs (freons) are sometimes used for washing printed circuit boards. CFCs break down ozone and thereby damage the ozone layer in the stratosphere, causing increased reception on earth of ultraviolet light with e.g. increased risks of skin cancer (malignant melanoma) as a consequence.

Lead **
Lead can be found in picture tubes, display screens, solders and capacitors. Lead damages the nervous system and in higher doses, causes lead poisoning. The relevant TCO'99 requirement permits the inclusion of lead since no replacement has yet been developed.

* Bio-accumulative is defined as substances which accumulate within living organisms
** Lead, Cadmium and Mercury are heavy metals which are Bio-accumulative.

さくいん

英数字

あ

か

さ

た

は～ら

NECディスプレイソリューションズ株式会社

本　社　〒108-0023 東京都港区芝浦 4-13-23（MS 芝浦ビル 10F）